

(1) Magnetic Resonance Imaging における 「動きと流れ」に関する研究について

川崎医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線技術学科 田淵昭彦

私の研究テーマは Magnetic Resonance Imaging における「動きと流れ」です。肝臓の MR 画像取得において、これまで呼吸停止位相として報告の無かった functional residual capacity phase を用いることにより従来法と比較し、再現性、分解能、画質を有意に向上させました。技術は進歩していますが良質な画像を取得するためには被検者の協力が不可欠です。本手法はこれらを前提に成り立っています。今後は多くのオペレーターに啓蒙し、普及させることを考えています。また放射線治療、PET/CT 等、他のモダリティにも利用していきたいと考えます。この研究の他にも造影剤を用いない MR-Angiography、なかでも 4D テクニックにおいて研究を継続しています。また診療放射線技術学科 小野教授の科研「リンパの可視化」では共同研究者の一人として精力を尽くしたいと考えます。MRI を使い他学科との共同研究が出来ればと考えていますので、よろしくお願ひ申し上げます。